

月例報告

学部	文学
学科	心理学科
国名	アメリカ
留学先	ボイシー州立大学
報告月	2018年8月
内容	<p>1.学習状況の報告</p> <p><科目名:></p> <p>English101 アカデミックライティングの基礎を学び始めた。勉強は基本的にはライター作品を読んでまとめ、@う行でディスカッションを行います。とにかく読む量が多く平均して15p読みます。英語で分からない単語や意味を読み解くのに時間がたくさんかかります。また読んだ内容に関してディスカッションがあるのですが、自分の読んだ内容があっているのかという自信がなくあまり発言できない状況にあります。もっと時間をかけてやる必要があると思いました。</p> <p>English105 さまざまな有名な文化について勉強します。これもまた先生から出されたテキストを読んでそれについての感想、エクササイズを通してグループディスカッションを行います。とにかく文量が多いですが、グループのみんなの白熱したディスカッションに必死についていこうとするばかりです。先生がとてもやさしく、いつもメールで長文の質問を送っても丁寧に返してくれます。ありがたさを感じますしそれにこたえたいと思います。</p> <p>Math 高校で習ったことを中心に解いていきます。わからないところは先生に聞くというよりはコンピュータが答えを教えてくれ、授業では特に何かをやるということはありません。高校での既有知識もあるため比較的簡単といえば簡単です。</p> <p>Psychology of counseling skills 心理学のカウンセリングの基礎を学んでいきます。まだオリエンテーションと授業を一回しかしていないのであまり中身は勉強していません。ただ一回の授業で2時間45分あるのでとてもタフな授業です。</p> <p><語学について></p> <p>留学する前、私は英会話はある程度友達ととることができていたのでそんなに心配していませんでした。しかし、日常英会話と授業は全くの別物でした。それは、授業というのは基本的に1時間以上あります。その間ずっと先生は話し続けるので、日常会話で多少わからないことがあっても話す量が少なかったのもそんなに問題なかったのですが、授業時間のせいで分からないところが積み重なっていき全くとっていきけなくなったりします。また授業も日本とわかってはいましたが全く違って面食らってしまいました。みんながまじめに話を聞き(聞き方も立膝を立てたり、ご飯を食べたりなど自由で日本ではありえない態度でしたが)、どんな時でも基本手を挙げています。日本に住んでいた僕からしたらあり得なかったです。ディスカッションも言葉が途切れることがありません。話すスピードも日常会話と違って早いし、言葉も専門的なものがたくさん出てくるし、ほとんどついていけません。みんなが必死に授業を受けているのだと感じました。またディスカッションなので同時に2,3人が話したりすることもあります。自分も早くディスカッションに参加できるよう挑戦していきたいと思えます。</p> <p>2.生活状況の報告</p> <p>みんなとにかく優しいです。スタッフの方や先生も自分が英語をあまりできないのを知っているので、積極的に協力してくれています。本当にその一言に尽きます。授業の友達やルームメイトにも恵まれました。生活も法政に来ていた学生の方の力を借りながらペースをつかんできました。カルチャーショックも今のところないしホームシックにも全くありません。とにかく勉強に集中できる環境を作ってもらったなあと思っています。友達もできましたが、まだあまり遊べてないので、これからは遊んだりもしてコミュニケーションをとっていきこうと思います。</p> <p>3.その他(今、感じていること～心境の変化やご自分の成長等)</p> <p>英語に関しては、今本場の英語に踏み込んだことを実感しているところです。まだ自分が聞き取った内容に自信がないので、未熟な部分がたくさんあることを実感します。日常会話と授業を同じに考えていたので、とにかく必死にみんなの英語をきいて慣れていこうとしているところです。つらくは全くないです。学ぶことが多すぎて楽しいと思っています。またいろんな人に会う機会がたくさんあり、そのなかには仕事と大学、大学と家庭など二つのことを両立させながら大学で勉強をしていることに驚きました。本気で勉強していて、僕が見たかったものを見ることもできています。自分もこの人たちと同じ空間にいる以上本気で勉強しなければと法政ではあまり感じなかった気持ちになっています。また生徒と先生と一緒に授業を作っているという感覚になります。生徒が本気で授業内容に向き合っていて日本の受動的な授業と全く違って、大変なのはアメリカのほうですが、その分やりがいがある日本の授業と比べてあります。また時間割も当初の予定より変更しました。とにかくまずは授業になれる必要があると、専門的な心理学の授業を一つ減らし、比較的やさしい数学の授業をとっています。とにかく秋学期の目標は先生の言っていることを理解できるようになることと、自分の意見を一生懸命述べられるようになることです。</p>